

森鷗外ゆかりの地

- 鷗外生誕の地であり少年時代を過ごした「**島根県津和野町**」
- 第十二師団軍医部長として赴任した「**福岡県北九州市小倉**」
- 60年の生涯の後半生を過ごし、終焉の地となった「**東京都文京区**」



各地域ゆかりの芸能

■石見神楽(島根県津和野町)

石見神楽は神の御心を和ませるという神職よっての神事であったものが、明治政府から神職の演舞を禁止する達しが出たことにより、土地の人々の手に受け継がれ、民俗芸能として演舞されるようになりました。そのリズムは、石見人の気性をそのままに、大太鼓、小太鼓、手拍子、笛を用いての囃子で演じられ、見る人を神話の世界に誘います。また、石見神楽はその詞章に特徴があり、荘重で正雅な古典的なその言葉は、里神楽には極めて稀だといわれており、その中に織り込まれた土の香りの高い方言的表現、素朴な民謡的詩情とともに独特のものをつくりあげています。



■小倉祇園太鼓(福岡県北九州市)

江戸時代から約400年続く小倉祇園太鼓は、無病息災・商売繁盛を祈念する北九州を代表する夏祭りです。太鼓は全国でも珍しい両面打ちで、太鼓とヂャンガラ(摺り鉦)が織りなす独特の調べが特徴です。国の重要無形民俗文化財指定。



■宝生流能楽(東京都文京区)

ユネスコ無形文化遺産に登録されている能楽ですが、宝生流は、5つある能楽のシテ方(主演などを勤める流派)の一つであり、室町時代より600年以上に渡り受け継がれ、写実的な表現を避け心持を見せる重厚な芸風に特徴があります。昭和3年より文京区本郷の地に居を構え、講演や普及活動を実施しています。



募集要項

日時 2022年1月29日(土) 14時開演(13時00分開場) 17時頃終了予定

対象者 区内在住・在勤・在学者

定員 400名

締切 2022年1月10日(月・祝)必着

申込方法 ※重複申込は不可

往復はがき(1枚につき2名まで)に①芸能サミット、全員の②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号、⑤在勤・在学者は勤務先・学校名と返信用にもあて先を明記し下記へ

〒112-8555(住所不要)

文京区アカデミー推進課文化事業係

※区のHPからもお申込みいただけます。

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/gejutsu/bunka/ogai100.html>



当日は、来場者の方向けに、能楽堂ロビーにて各地域の特産品等の販売も予定しております!

交通のご案内



問い合わせ

文京区アカデミー推進課文化事業係
☎03(5803)1120